

クロサカ ノリコ
黒坂 則子
Noriko KUROSAKA

所属・職名	法学部法律学科 教授
研究分野	行政法、環境法(日米両国における環境規制の比較)
研究活動	私は、行政法的アプローチから環境問題を捉え、環境規制手法のあり方を研究することを主たる研究テーマとしています。環境規制のあり方を考えるうえで、特にアメリカにおける土壌汚染問題に対する政策手法を中心に研究してきました。現在も引き続き日米における土壌汚染対策問題を研究しつつ、さらにより広い視点から、土地利用規制における環境問題も研究したいと考え、研究の緒に就いたところです。わが国においては、現在、汚染土壌ではない、建設発生土をはじめとした土砂の埋立て等の規制条例を中心に研究しています。
主要な業績 (著作・論文・研究 発表)	(分担執筆著書)『環境法のフロンティア』黒川哲志・奥田進一編(2015年)「第2章基本理念・基本原則・政策手法」,『第13章鉱物資源』 (論文)「土砂埋立て等の規制に関する条例の現状と課題」『日本不動産学会誌』113号(2015年) 111-116頁 (論文)「近時の京都市における産業廃棄物行政・産廃処理・3R等優良事業場認定制度(産廃チェック制度)を中心に」『環境管理』150巻1号(2014年)48-53頁 (判例評釈)「開発負担に関する事例」 Koontz v. Johns River Water Management District, 133 S. Ct. 2586(2013)』『アメリカ法2014-1号』(2014年)206頁-209頁 など
社会活動・その他	京都府建築士審査会、京都府国土利用計画審議会、京都府環境影響評価審査会、大阪府公害審査会、兵庫県建築審査会、大阪市環境影響評価専門委員会、京都府公共事業評価審査会、西宮市建築審査会、尼崎市情報公開・個人情報保護審査会委員、尼崎環境審議会、京都市美観風致審議会、奈良市法令審査会、高槻市環境審議会、川西市景観審議会、大阪市港湾審議会、京都市3R推進協議会など
所属学会	公法学会、環境法政策学会、日本不動産学会、日本地方自治学会
キーワード	土壌汚染、環境法、環境規制、土地利用規制

https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/109001/109001_Researcher.html